

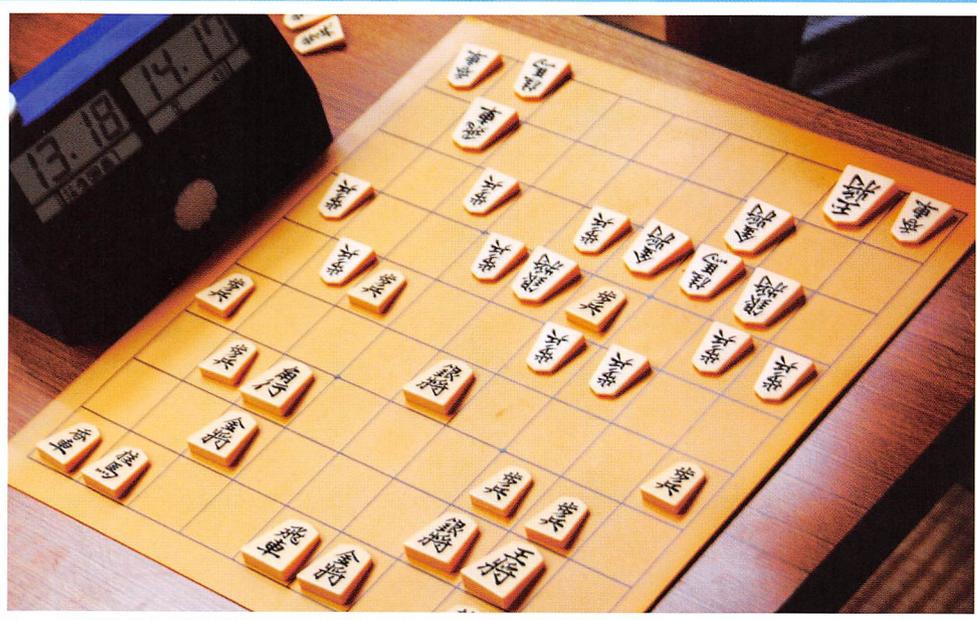


第38回全国高等学校総合文化祭

いばらき総文2014

将棋 部門プログラム

第50回全国高等学校将棋選手権大会



平成26年7月27日(日)・28日(月) 茨城県武道館



茨城空港

創造の花を咲かせよ 舞える筑波の風を吹かせる文化の風



目次



ごあいさつ	1
歓迎のことば	2～3
棋士紹介	3～4
大会要項	5
対局規定	6
スイス式トーナメントについて	7
大会日程	8
開会式・閉会式	9
出場者名簿	10～15
栄光の記録	16～17
全体会場案内図	18
対局会場座席配置図（茨城県武道館・大道場）	19
会場周辺図	20
イメージソング「未来へと続く道」楽譜	21
緊急時対応マニュアル	28



第38回全国高等学校総合文化祭
将棋部門委員長

佐々木 清 人

(高等学校文化連盟全国将棋専門部会長)
(岩手県立一関工業高等学校校長)

第38回全国高等学校総合文化祭並びに第50回全国高等学校将棋選手権大会に参加される選手の皆さん、各都道府県での厳しい予選を勝ち抜いての全国大会出場、誠におめでとうございます。これまでの日々の努力に対しまして心より敬意を表します。

この大会は、高等学校教育の一環として芸術文化活動に積極的に参加させることにより、創造性豊かな人間形成と、全国の高校生との交流・親睦を図ることを目的に行われるものです。全国の高等学校生徒の将棋大会として多くの名勝負が繰り広げられて来ましたが、皆さんにも、先人に学びまた新たな歴史のページを開く対局をしてくれることを願っています。

さて、将棋は究極の頭脳スポーツと言っても良いかと思えます。運動競技と同じに、普段の学校生活における「身」と「心」のしっかりとした自己管理ができるということも大事です。併せて、平安の時代から続く「礼に始まり礼に終わる」礼節を重んじる日本の伝統文化としてもその確かな地位を確保して来ましたが、将棋の「悠久の歴史と伝統」を感じ取り、正々堂々と対局していただきたいと思えます。将棋は勝負事であり、駒の持つ動きや戦況での働きを良く理解し、集中力を切らさず様々な道筋を思考・考察していく事が求められます。生徒諸君は全国大会に向け、正に、この集中力を切らさず精進して来たことと思えます。最後まであきらめず、全国各地から選ばれた精鋭達との対局を楽しんでください。

「将棋盤上に巡らした想い」は、あなた方の忘れられない思い出となり、また各学校で培った試行錯誤の戦略・戦術は、将来、皆さんが社会人として生きていく上での確かな糧となることでしょう。これまでの練習の成果を十分に発揮し、悔いのない試合をしてくれることを期待します。

そして、この大会を通して、全国から集まった同じ高校生との親交を深め、友情を養っていただきたいと思えます。

終わりに、本大会開催にあたりまして、文化庁をはじめ、茨城県、日本将棋連盟他、多くの関係者の多大なるご協力に感謝を申し上げ、挨拶といたします。



公益社団法人
日本将棋連盟会長

谷 川 浩 司

関係各位のご尽力のもと第38回全国高等学校総合文化祭並びに第50回全国高等学校将棋選手権大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

さて、今大会は50回という大きな区切りの大会となりました。

半世紀もの永きにわたり、本大会が多くの選手と関係者の皆様によって支えられてきたということを想いますと感慨も一入です。

半世紀と一口に申ししましても、この間日本国内はもとより将棋界でも実に多くのことがありました。

パソコンや携帯電話で何時でも誰とでも将棋を楽しめるようになり、コンピューターがプロ棋士に匹敵する実力を持つということ、50年前の人たちは想像していたのでしょうか。

そう考えますと、100回大会を迎える更に50年後は、どんな世の中になっているのか想像もつきません。

しかし、こと伝統文化というものに限って申し上げれば、それは決して時代に流されず、悠々と何千年の間流れ続ける「大河」のようなものではないかと考えます。

将棋はこれからも続く日本の伝統文化です。

「大河」のごとく流れ続け、日本人の心を豊かにし続けるものと考えています。

今高校生の皆様も、社会人になれば否応なく時間に追われ、時代を先読む力を要求されることになるでしょう。

そんな時、ちょっと高校時代を思い出し、将棋に触れてみると、意外と心に余裕が生まれるかもしれません。

それこそが日本人の心に刻み込まれた伝統文化の持つ力によるものと考えからです。

参加選手の皆様が立派な社会人になられると同時に、伝統文化の継承者として、心も豊かになる日本にしてくださいを願ってやみません。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、全国高等学校文化連盟将棋専門部の皆様、茨城県関係各位の多大なるご尽力ご協力に深く感謝を申し上げまして、挨拶にかえさせていただきます。

🌸 歓迎のことば



第38回全国高等学校総合文化祭
将棋部門生徒実行委員会委員長

佐藤 良賢

選手の皆さん、水戸市にお越しいただきありがとうございます。各都道府県予選会を勝ち抜いてきた選手の皆さんの対局が拝見できるとともに、その運営に携わることができることを大変誇らしく、そして嬉しく思っています。

昨年度の全国高等学校総合文化祭長崎大会では、緊張した雰囲気の中、数々の白熱した対局が展開され、全国総文祭とは、これほどまでに張り詰めた空気の中で将棋を指すものなのかと見ている私も緊張してしまふほどでした。2月には水戸市の梅まつりで、女流棋士と茨城県高校生代表者の対局を運営させていただくとともに、対局を間近で拝見させていただく機会がありました。その素晴らしい指し回しにただ素直に感動するとともに、将棋とは、どこまでも奥深く考えることができる盤上のゲームだと改めて実感いたしました。ときに数十手、多いときには数百手の中から勝利へと導く一手を指し、自分のペースに引き込むことができるかが将棋の醍醐味ではないかと思っています。いばらき総文2014のテーマ「創造の花を咲かせよ そび 聳える筑波嶺 吹きぬける文化の風」にある「創造の花」とは、将棋では「勝利へと導く会心の一手」のことだと思っています。選手の皆さんがここ茨城の地で「創造の花」を咲かせられるよう、将棋部門全体でサポートさせていただきたいと思っています。

水戸市は、同じボードゲームとして有名なオセロの発祥の地でもあります。会場にオセロコーナーを設けておりますので、将棋とともに楽しみください。また、水戸市には、日本三大庭園の一つである偕楽園があります。気分転換やリラックスに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

私たち将棋部門生徒実行委員会委員一同は、選手の方々が対局に集中できるよう、スムーズな運営をしていけるよう頑張っていく所存です。最後に、選手の方々の健闘をお祈りし、歓迎の言葉とさせていただきます。



第38回全国高等学校総合文化祭
茨城県実行委員会将棋部門委員長

生田目 正直

第38回全国高等学校総合文化祭「いばらき総文2014」が、7月27日から31日の5日間、茨城県内の9つの市と村を会場に開催されます。その中で将棋部門は、7月27日(日)、28日(月)の2日間にわたり、県都水戸市にある県武道館において、全国より集い来る俊秀達によってその熱戦が展開されます。昨年夏、長崎県時津町を訪れて、第37回大会を参観させていただきましたが、その会場に立ちこめる熱気と真剣さには圧倒されました。将棋に限らず物事を達成するのに必要なはおそらく才能と継続的努力だと思われませんが、実際の局面で勝負を決するのは「集中力」と「閃き」でしょう。水を打ったように静かな会場の中に凝縮された若い力が漲り、そして進む真剣勝負の迫力はその場に立たなければ分からないということを強く感じた体験でした。

開催地である茨城県水戸市は、徳川御三家の一つである水戸家の城下町として古い歴史を有し、偕楽園や弘道館という名所旧跡にも恵まれています。第二代藩主徳川光圀は「大日本史」編纂の事業を志し、この伝統が幕末動乱時の思想的背景となったことは歴史の示すとおりです。会場である県武道館も古くからの文教地区にあり、文字通り水戸の伝統的精神である「文武両道」の雰囲気に包まれた場所です。この地で全国から選りすぐりの選手諸君を迎えられるということに、私たちは大きな喜びを覚えると同時に強い責任を感じないわけにはいきません。この2日間のために本県の沢山の教職員と生徒達が1年以上にわたり周到な準備をして参りました。それは選手の皆さんに日頃の研鑽と努力はもちろん、常以上の「閃き」を発揮してもらうために、最高の場を提供したいと考えているからです。そして、結果如何に関わらず、この2日間の熱闘の思い出が必ずや皆さんの心に大きな煌めきとして残ることを願うからです。

選手の皆さんにはどうか悔いの無い試合をして欲しいと思います。一つ一つの対局が自己の実力を伸ばし、さらには自分そのものを成長させるような試合を期待します。そして、この水戸の地における夏の日が多くの新しい出会いの場となることを願って歓迎の言葉といたします。

🌸 歓迎のことば・棋士紹介



水戸市長

高橋 靖

「創造の花を咲かせよ ^{そび} 聳える ^{つくばね} 筑波嶺 吹きぬける文化の風」をキャッチフレーズに、第38回全国高等学校総合文化祭が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、全国各地からお集まりいただきました皆様を心から歓迎申し上げます。

芸術・文化は、人々の心にゆとりや生きがいを与えると同時に、次代を担う若者たちの豊かな感性を育むなど、社会全体が守るべき貴重な財産であります。

本市では、「笑顔あふれる安心快適空間 未来に躍動する 魁のまち・水戸」を将来都市像とし、世界に向けて芸術・文化を創造・発信する水戸芸術館による質の高い事業の展開や、水戸室内管弦楽団の総監督も務める世界的な指揮者である小澤征爾館長はじめ、トップクラスの演奏家による児童生徒への吹奏楽指導など、水戸芸術館と連携した芸術教育を推進しています。

さらに、水戸市芸術祭をはじめとした市民の主体的な芸術文化活動の支援や、質の高い芸術を身近に感じる機会の提供に努め、市民が芸術文化に親しむことのできる環境づくりを進めてきたところです。

このような中、高校生の芸術文化活動の祭典である「いばらき総文2014」が、本市において7部門が開催されますことは、誠に意義深いことであると感じています。

参加される高校生の皆様には、芸術文化活動による交流の輪を更に広げられ、実り多き思い出深い大会になりますとともに、是非この機会に水戸芸術館や水戸徳川家ゆかりの史跡に加え、本市が誇る千波湖周辺の自然景観などをご訪問いただき、伝統を受け継ぎながら新しい文化の創造に取り組む本市の魅力を感じていただきたいと思います。

最後に、本大会の開催に当たり、ご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



大会副委員長
日本将棋連盟理事

片上大輔

六段

昭和56年8月28日生まれ（32歳）。広島市出身。平成5年9月、6級で森信雄七段門下。平成8年3月初段。平成16年4月1日四段。平成18年10月10日五段。平成21年5月12日六段。平成17年度第18期『竜王ランキング戦』5組へ昇級。平成18年度第19期『竜王ランキング戦』4組へ昇級。平成18年度第65期「順位戦」C級1組へ昇級。平成19年度第20期「竜王戦」4組で優勝し、3組へ昇級。平成21年度第22期「竜王戦」3組で優勝し、2組へ昇級。平成19年11月8日、通算100勝達成。平成25年6月5日、通算200勝達成。平成25年6月3日から日本将棋連盟理事。

将棋を覚えたキッカケは、4歳の時、いここに教わったこと。趣味はバックギャモン。著書に「3手1組プロの技」（マイコミ）がある。東京大学在学中にプロ棋士となる（東京大学出身は棋界初）。

棋士紹介



せん さき
先崎 まなぶ 九段

昭和45年6月22日生まれ(43歳)。青森県青森市出身。昭和56年11月5級で(故)米長邦雄永世棋聖門下。昭和60年初段。昭和62年10月19日四段。平成2年10月8日五段。平成6年6月8日六段。平成11年4月1日七段。平成12年4月1日八段。平成26年4月1日九段。平成7年度第8期「竜王戦」で1組昇級。第54期「順位戦」でC級1組昇級。平成9年度、第56期「順位戦」でB級2組昇級。平成10年度第57期「順位戦」でB級1組昇級。平成11年度第58期「順位戦」でA級昇級(3期連続昇級)。

棋戦では平成2年度第40回「NHK杯戦」優勝。平成3年度第14回「若獅子戦」優勝(棋戦優勝2回)。平成19年5月1日、通算500勝達成。平成25年2月7日、通算600勝(将棋栄誉賞)達成、A級在位2期。

著書に「先ちゃんの順位戦泣き笑い熱局集」、「村山聖名局譜(共著)」、「やりなおしの将棋」(岩波書店)等がある。将棋の魅力は、勝つ喜び、上達の楽しみ、飽きない魅力。好きな言葉は「青年は確実な証券を買ってはならない」。趣味はパングネット、スキー。平成11年5月、囲碁のプロ棋士 穂坂繭二段と結婚。



と べ
戸辺 まこと 六段

昭和61年8月5日生まれ(27歳)。神奈川県横浜市出身。平成10年9月、6級で加瀬純一六段門下。平成13年8月初段。平成15年4月三段リーグ入り。平成18年10月1日四段。平成21年3月10日五段。平成22年2月9日六段。平成19年度第20期「竜王戦」6組で優勝し、5組へ昇級。平成20年度第67期「順位戦」でC級1組へ昇級。平成21年度第68期「順位戦」でB級2組へ昇級。平成22年第37回「新人賞」受賞。

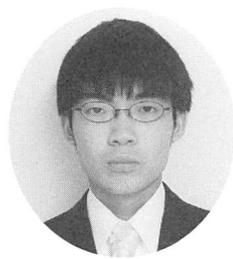
将棋を覚えたキッカケは9歳の時に父親から教わったこと。趣味はスポーツ、音楽、買い物。著書は「楽しく勝つ!!力戦振り飛車」、「戸辺流相振りなんでも三間飛車」。



ほん だ さゆり
本田小百合 女流三段

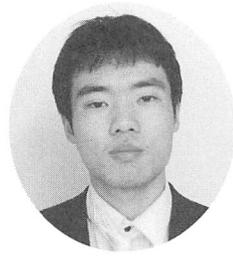
昭和53年10月3日生まれ(35歳)。茨城県水戸市出身。平成2年(故)佐瀬勇次名誉九段門下で育成会入会。平成4年4月1日女流2級。平成5年4月1日1級。平成11年4月1日初段。平成16年5月19日二段。平成24年9月26日三段。平成13年第28期「女流名人位戦」A級リーグ入り。第12期「女流王位戦」本戦、進出。平成18年第33期「名人位戦」A級リーグ入り。平成24年第2期「リコー杯女流王座戦」挑戦者、タイトル挑戦は初。

将棋を始めたのは、4歳くらいの時、4つ違いの兄と3つ違いの姉といっしょに父親が教えてくれたこと。好きな将棋の格言は「歩のない将棋は負け将棋」。性格を駒にたとえると桂馬。好きな言葉は自由。特技は手先が器用なこと。趣味は旅行、絵画、散歩、買い物。



かじ うら ひろ たか
梶浦宏孝 三段(奨励会)

平成7年7月6日生まれ(18歳)。平成20年4月6級で鈴木大介八段門下。平成23年3月初段。平成24年10月三段。



あら た さと し
荒田敏史 二段(奨励会)

平成5年5月16日生まれ(21歳)。平成20年1月6級で石田和雄九段門下。平成23年5月初段。平成25年5月二段。

大会要項

- 1 主催 文化庁、(公社)全国高等学校文化連盟、茨城県、茨城県教育委員会
(公社)日本将棋連盟、水戸市、水戸市教育委員会、茨城県高等学校文化連盟
- 2 後援 全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、茨城県高等学校長会
茨城県私学協会、報道団体等
- 3 日時 平成26年7月27日(日) 9時00分～18時30分
7月28日(月) 8時30分～13時00分
- 4 会場 茨城県武道館
〒310-0045 茨城県水戸市新原2-11-1 (堀原運動公園内)
TEL 029-251-8444 FAX 029-252-2554
- 5 競技種目 男子団体戦、女子団体戦、男子個人戦、女子個人戦
- 6 競技方法 すべて平手戦とし、男女団体戦・個人戦ともにスイス式トーナメントによる予選4回戦を実施し、3勝以上の者による決勝トーナメントを行います。
- 7 表彰 男女団体戦・個人戦ともに5位まで表彰します。

一般の見学者は2階観覧席からご覧ください。
写真等の撮影は、対局者の妨げにならないようご配慮をお願いします。
(対局中のフラッシュによる撮影はお控えください。)

対局規定

1 「手合い、先手・後手の決定」

- ・全局平手戦にて行い、先後の決定は振り駒とする。団体戦は主将が振り、交互の先後となる。また団体戦は申し込み時の同将同士の対局とする（オーダーは変更できない）。

2 「対局時計」

- ・対局には対局時計を用い、その位置は後手が決めることができる。時計は指した手で押さなければならない。対局時計を逆の手で押した場合は、審判長の判断で失格となるときもある。

3 「持ち時間」

- ・準決勝・決勝は30分とし、使いきると1手30秒の秒読みとする。
- ・それ以外の対局は団体戦20分、個人戦15分とし、使いきると1手30秒の秒読みとする。

4 「反則」

- ・対局相手に以下の行為があった場合、反則勝ちとなる。該当者は時計を止め、すみやかに審判長に申し出ること（対局者以外は反則を指摘しないようにしてください）。
 - (1) 対局開始後、遅刻者の時間が切れる遅刻。
 - (2) 対局中、対局相手以外の助言、批評を受けること。
 - (3) 禁じ手。（二歩、打歩詰め、行き所のない駒、成れない駒の成りなど）
 - (4) 二手連続の着手。
 - (5) 待った。（駒から手を離したら、着手を変更できない）
- ・反則の指摘は対局者のみが行うことができる（観戦者はしてはいけない）。反則を指摘しない場合は、反則とはならない。反則の指摘は指した直後でなくとも、盤面に残っている場合は行うことができる。投了後の反則の指摘は認めない（投了の優先）。

5 「千日手」

- ・同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めてすみやかに審判長に申し出ること。同じ対局で2回以上千日手となった場合は以下のように対処する。
 - 1回目：残り時間はそのまま先後を交代して指す。
 - 2回目：抽選により、勝敗を決める。抽選方法は審判長に一任する。

6 「持将棋と判定の時期」

- ・双方入玉模様となった場合、審判長の判定で持将棋が成立する。27点法（大駒5点、小駒1点）で、ポイントの多い方を勝ちとする。ただし、同点の場合は後手番の勝ちとする。また、双方入玉模様となっていなくても、対局時間が著しく経過した場合、審判長は勝敗の判定をすることができる。

7 「マナー」

- ・以下の行為は慎み、正々堂々と対局すること。
 - (1) 対局相手や対局所の迷惑となるような行為。
 - (2) 対局場内で騒がしくすること。

8 「その他」

- ・問題が生じた場合は、時計の中断ボタンを押し、すみやかに審判員に申し出て審判長に一任すること。

9 審判員の役割

- (1) 対局者から反則の指摘があったとき立ち会う。
- (2) マナーの悪い生徒（対局時計の逆手押し等）を注意し、是正されない場合は、反則負け等の処置をとる。
- (3) 持将棋と千日手の判定。
- (4) その他、トラブルへの対応。

スイス式トーナメントについて

今大会においては、スイス式プログラムを用いて、対戦組み合わせ、成績算出などを行う。

1 基本原則

- ・選手番号はすべて責任抽選とする。
- ・原則として、同じ成績の者同士で組み合わせる。原則どおり組み合わせができないとき（同じ成績の者の総数が奇数の場合など）は、できるだけ近い成績の者同士で組み合わせる。
- ・全参加者が奇数の場合は、bye（不戦勝）選手を決める。
- ・どの組み合わせも一回限りで、同じ相手と二度以上対局することはない。
- ・原則として、同じ成績の者のグループを上下に分け、各グループ同士で無作為抽選で対戦相手を決める。

※初戦は、以下の例のように抽選番号で対戦相手を決める。

（例）選手番号が1～98番のとき、初戦は

1 - 50、2 - 51、…、48 - 97、49 - 98のように対局

- ・同県対決については、予選リーグにおいては避ける。決勝トーナメントにおいては考慮しない。

2 タイブレーク

順位については、まず勝ち点が多い者を上位とする。

タイブレーク（同じ勝ち点）になったときには、以下のような優先順位で順位を決定する。

【個人戦】

- ①ブックホルツ Buchholz ……対戦相手の勝ち点の総和
- ②バーガー Berger ……勝った相手の勝ち点の総和
- ③メディアン Median Buchholz ……対戦相手の成績上下を引いた残り2つの勝ち点の総和
- ④プロGRESS Progress ……各回戦の勝ち点の総和
- ⑤抽選

【団体戦】

- ①ブックホルツ Buchholz
- ②バーガー Berger
- ③メディアン Median Buchholz
- ④勝ち数の総和
- ⑤プロGRESS Progress
- ⑥抽選

3 決勝トーナメントの対戦方式

- ・予選リーグで3勝以上挙げた個人選手、団体戦チームは決勝トーナメントに進出することができる。
- ・決勝トーナメントの対戦相手は以下のように決める。

（例）16代表が決勝トーナメント進出のとき

- 1 回戦 A：1位 - 16位、B：2位 - 15位、C：3位 - 14位…
…、F：6位 - 11位、G：7位 - 10位、H：8位 - 9位
- 2 回戦 I：Aの勝者 - Hの勝者、J：Bの勝者 - Gの勝者、
K：Cの勝者 - Fの勝者、L：Dの勝者 - Eの勝者
- 準決勝 M：Iの勝者 - Lの勝者、N：Jの勝者 - Kの勝者
- 決 勝 O：Mの勝者 - Nの勝者

- ・1回戦の対戦相手がいない場合は不戦勝とする。

大会日程

◇式典・競技進行

7月26日(土)	受 付	14:00~16:00	茨城県武道館玄関	
7月27日(日)	受 付	7:50~8:40	茨城県武道館玄関	
	開 会 式	9:00~9:40	茨城県武道館・大道場	
	競 技 進 行	男女団体戦		男女個人戦
	予 選 1 回 戦	9:40~10:40		9:40~10:30
	予 選 2 回 戦	10:50~11:50		10:40~11:30
	昼 食 休 憩	12:00~12:40	11:30~12:10	茨城県武道館・剣道場 大道場2階観覧席
	予 選 3 回 戦	12:40~13:40	12:10~13:00	茨城県武道館・大道場
	予 選 4 回 戦	13:50~14:50	13:10~14:00	
	決勝トーナメント 1 回 戦	15:00~16:00	14:10~15:00	
	決勝トーナメント 2 回 戦	16:10~17:10	15:10~16:00	
決勝トーナメント 3 回 戦	—	16:10~17:00		
7月28日(月)	各部門5位表彰式	8:10~8:25	茨城県武道館・大道場	
	準 決 勝	8:30~10:00		
	決 勝	10:10~11:40	茨城県武道館・会議室	
	閉 会 式	12:10~12:50	茨城県武道館・大道場	

※弁当配付場所は茨城県武道館玄関、昼食場所は剣道場及び大道場2階観覧席です。

◇交流会・関連行事

	26日(土)	27日(日)	28日(月)	
主催者間会議	16:00~18:00			茨城県武道館・会議室
高文連全国将棋 専門部会議		10:00~12:00		茨城県武道館・会議室
指導対局		10:00~12:00	9:00~11:30	27日午前は剣道場、 27日午後は会議室、 28日は茨城県武道館・ 大道場です。
		13:00~14:30		
		15:00~17:00		
交流対局		15:30~17:00	9:00~11:30	27日会議室・28日大 道場
自由対局		~18:00	8:30~11:30	27日剣道場・28日大 道場
大盤解説			10:00~12:00	

指導棋士 先崎 学 九段、戸辺 誠 六段、本田小百合 女流三段、
梶浦 宏孝 三段、荒田 敏史 二段

大盤解説 解説 プロ棋士 先崎 学 九段、戸辺 誠 六段 聞き手 本田小百合 女流三段

開会式

茨城県武道館大道場

【開会式次第】

開会のことば	司会 茨城県立並木中等教育学校 羽成 豪
歓迎のことば	第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門生徒実行委員会委員長 水戸葵陵高等学校 佐藤 賢良
あいさつ	高等学校文化連盟全国将棋専門部会長 佐々木 清人 日本将棋連盟理事 片上 大輔 水戸市長 高橋 靖 第38回全国高等学校総合文化祭茨城県実行委員会将棋部門委員長 生田目 正直
優勝杯返還	男子団体 岩手県・岩手高等学校 女子団体 愛知県・愛知工業大学名電高校
対局上の注意	審判長 美馬 和夫 日本将棋連盟茨城県支部連合会副幹事長・関東アマ名人
来賓紹介	茨城県将棋専門部 部門代表委員 矢須 雅進
選手宣誓	茨城県立太田第一高等学校 上村 友大、茨城県立土浦第一高等学校 岩堀 佳菜
閉会のことば	司会 茨城県立並木中等教育学校 羽成 豪

閉会式

茨城県武道館大道場

【閉会式次第】

開式のことば	司会 茨城県立並木中等教育学校 羽成 豪
あいさつ	高等学校文化連盟全国将棋専門部会長 佐々木 清人 第38回全国高等学校総合文化祭茨城県実行委員会将棋部門委員長 生田目 正直
成績発表	茨城県将棋専門部 部門代表委員 矢須 雅進
表彰	文化庁、高文連全国将棋専門部、日本将棋連盟
免状授与	日本将棋連盟 戸辺 誠 六段
講評	日本将棋連盟 先崎 学 九段
あいさつ	次年度開催県・滋賀県高等学校文化連盟将棋専門部会長 寺井 久信
お礼のことば	第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門生徒実行委員会委員長 水戸葵陵高等学校 佐藤 賢良
閉式のことば	司会 茨城県立並木中等教育学校 羽成 豪

出場者名簿

(1)男子団体戦

番号	都道府県	高等学校名	主将	学年	副将	学年	三将	学年
1	北海道	札幌光星高等学校	郡 宏翔	3	高山 優希	1	川合 祐貴	1
2	青森県	青森県立青森東高等学校	蛭名 新	3	江藤 仁太	3	宮越 大典	1
3	岩手県	岩手高等学校	川又 祐斗	3	川井 郁弥	2	山口 大成	3
4	岩手県	岩手県立一関第一高等学校	湊 隆文	3	村川 駿介	2	浅利 健史	3
5	宮城県	宮城県白石高等学校	高橋 憲童	2	日下 遼太	3	佐藤 大樹	2
6	秋田県	秋田県立秋田高等学校	田畑 貴樹	3	高橋 誠	3	伊藤 成	1
7	山形県	山形県立山形東高等学校	武田 一馬	3	松尾 凱	3	奥山 雄介	2
8	福島県	福島県立福島高等学校	駒林 寛己	3	荻野 哲史	2	佐久間慶介	3
9	茨城県	江戸川学園取手高等学校	藤巻 智行	2	鎌田 涼雅	1	館野 龍平	2
10	栃木県	文星芸術大学附属高等学校	原田 拓	2	岡本 一仁	2	福田 雄太	1
11	群馬県	群馬県立前橋高等学校	伊井 達哉	3	花岡 徹思	2	清水 直哉	1
12	埼玉県	埼玉県立浦和高等学校	石橋 舜	3	北脇 駿	3	嶋村 寧人	2
13	千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	奥村 匠	3	西田 悠太	3	上島 司	3
14	東京都	開成高等学校	樋口 昌也	2	谷口 貴紀	2	三木 大知	2
15	神奈川県	浅野高等学校	小川 誠也	1	立野 時康	1	中山 脩彬	2
16	山梨県	山梨学院大学附属高校	竹内 広也	1	俵 宏輔	2	竹内 大地	1
17	新潟県	新潟明訓高等学校	杵鞭 慶	2	磯野 泰輔	3	平 悠太	2
18	富山県	富山県立富山中部高等学校	荒木優太郎	1	野口裕太郎	3	平岡 大河	3
19	石川県	石川県立小松高等学校	中田 隆介	3	畑 昂志	3	竹内 恒平	3
20	福井県	福井工業高等専門学校	中山 玲司	3	奥田 真史	1	小田 樹也	2
21	長野県	長野県伊那北高等学校	野澤 聖幸	3	高木 涼太	3	片桐壮太郎	3
22	岐阜県	岐阜県立可児高等学校	新田健一郎	3	今井 翔	3	市原慎太郎	3
23	静岡県	日本大学三島高等学校	喜多正太郎	3	征矢 寛汰	1	金井 天馬	3
24	愛知県	愛知県立瑞陵高等学校	黒川 和樹	3	新美湧一朗	1	山崎 祐哉	2
25	三重県	高田高等学校	黒瀬 大輝	3	臼井 遼介	3	大河内真哉	3
26	滋賀県	光泉高等学校	大平 強	3	草川 鋭一	2	宇野 恭平	2
27	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	出口 鷹也	2	大崎 修平	1	近藤 拓海	1
28	大阪府	高槻高等学校	佐々木裕也	2	武田 大範	2	岡本 和己	3
29	兵庫県	灘高等学校	武内 祐哉	1	今井 悠斗	3	武縄 真和	3
30	奈良県	西大和学園高等学校	春名 裕貴	2	大森 和真	2	米澤 卓哉	2
31	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	上 宗馬	3	國友 亮佑	2	藪本 宙	2
32	鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	増田 共祐	2	田口 智博	2	朴木 憲史	3
33	島根県	島根県立松江北高等学校	長山 海澄	3	角田 希	1	來海 裕晃	1
34	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	岡 省吾	2	水口 優	3	角田 裕哉	2
35	広島県	修道高等学校	森田 啓大	3	山本 大樹	3	植野 晶	2
36	山口県	山口県立防府高等学校	松永 平賢	3	窪 健太	3	宮崎 真洋	2
37	徳島県	徳島市立高等学校	吉川 智也	2	尾本 幸毅	3	桑山 悠一	1
38	香川県	香川県立丸亀高等学校	圖子 諒太	3	竹本 朋樹	2	中田 瑛祐	1
39	愛媛県	新田高等学校	牟田口群英	2	中村 幸佑	1	土居 雅彦	2
40	高知県	土佐塾高等学校	光本 航大	2	中津 健志	3	本村 海渡	2
41	福岡県	久留米大学附設高等学校	香月 郁文	3	松本 龍弥	3	野田 尚希	2
42	佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校	岩政健太郎	2	池田 昂	2	富永 泰志	3
43	長崎県	青雲高等学校	吉原 龍	1	横井 晴土	1	白石 祐太	1
44	熊本県	熊本県立玉名工業高等学校	濱崎 幸也	2	土井口貴章	3	二宮 弘斗	2
45	大分県	大分県立大分豊府高等学校	秦 義貴	3	有田 双葉	1	中村 彰展	3
46	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	松山 和暉	1	井戸崎 慎	1	黒木 航太	1
47	鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	大角浩太郎	3	宮屋敷駿平	2	岩下貴利人	2
48	沖縄県	興南高等学校	泊口 涼雅	3	喜久山勝一	3	浦崎 航	1

(2)女子団体戦

番号	都道府県	高等学校名	主将	学年	副将	学年	三将	学年
1	北海道	北海道函館中部高等学校	荒木 真子	2	松谷 香奈	2	池田 にこ	2
2	青森県	青森県立青森東高等学校	大澤 桃子	1	蝦名 美織	1	齊藤 真夕	1
3	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	工藤 清香	2	及川茉莉奈	1	齋藤 英恵	3
4	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	工藤 成穂	2	今野 遥香	2	眞壁 春香	2
5	茨城県	茨城県立鹿島高等学校	笠野 里緒	2	笠井 玲奈	2	保立 祐希	2
6	群馬県	群馬県立富岡東高等学校	滝上 睦子	3	高橋 瑠奈	3	田中 絵梨	3
7	埼玉県	西武学園文理高等学校	橋本智佳子	1	北田 未来	1	中村 歩実	1
8	千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	伊藤 由衣	3	竹内万葉詩	3	藤原 雅子	2
9	神奈川県	東海大学付属相模高等学校	柿島 栞里	3	三杉 春菜	3	林 美咲	3
10	山梨県	山梨県立上野原高校	佐々木菜奈	1	秋山 真聖	1	工藤 真悠	1
11	新潟県	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	貝沼 優佳	5	今井 優花	5	坂井 美穂	5
12	石川県	石川県立小松高等学校	洌川 琴美	3	臼井 亜優	3	中村まゆ帆	1
13	長野県	長野県野沢北高等学校	竹花 和	2	田中 聖愛	2	山崎 麻純	2
14	岐阜県	富田高等学校	三浦 さち	2	平光ひなた	2	藤井 扇	2
15	静岡県	藤枝明誠高等学校	井口 真希	3	中島 伶奈	3	荒浪 双葉	3
16	愛知県	愛知工業大学名電高等学校	遠山 侑里	3	横山 真子	1	水野 葵	2
17	愛知県	南山高等学校女子部	稲吉 恵	1	岩崎 絢子	3	永野 里奈	2
18	三重県	高田高等学校	山路友梨佳	2	岡 菜々美	3	坂本 瑞稀	2
19	滋賀県	滋賀県立湖南農業高等学校	高橋 真美	2	安食 栞理	3	丸山 愛美	3
20	京都府	京都府立西舞鶴高等学校	梅原 爽加	1	石井 沙知	3	山中古都乃	3
21	大阪府	近畿大学附属高等学校	吉永 七虹	2	松岡めぐみ	1	高橋 優子	2
22	兵庫県	兵庫県立御影高等学校	大川 美優	2	阿部 睦	1	藤岡 祐衣	1
23	奈良県	奈良学園高等学校	安田由利子	2	植田ひかり	2	近藤 彩香	2
24	鳥取県	鳥取県立境港総合技術高等学校	安倍 晴愛	3	景山絵莉花	3	鶴谷 真希	1
25	岡山県	岡山県立備前緑陽高等学校	清水 莉花	3	尾崎 美樹	3	坂東 沙貴	3
26	広島県	広島県立神辺旭高等学校	橋本 侑紀	3	向井 彩乃	3	塚 理萌	2
27	山口県	山口県立徳山高等学校	細瀬 摩利	1	河村 莉奈	2	関岡 奈々	2
28	香川県	香川県立香川中央高等学校	山崎 陽菜	2	濱松 歩生	1	西原歩祐翔	1
29	愛媛県	愛媛県立新居浜西高等学校	国村 彩香	3	高橋 桃子	3	尾藤 真弓	3
30	高知県	高知県立須崎高等学校	高橋 侑里	2	高橋 実里	2	小野亜由香	2
31	福岡県	福岡県立青豊高等学校	碓井 友菜	2	安枝 恵里	3	村上天明日香	2
32	熊本県	熊本県立熊本高等学校	土肥 夢花	3	谷崎 愛永	3	本田あかり	3
33	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	渡辺まどか	3	井村 友美	3	藤本恵里奈	3
34	宮崎県	学校法人旭進学園 宮崎第一高等学校	平原 美咲	3	長友 瑠菜	3	松山 千紘	3
35	鹿児島県	鹿児島県立財部高等学校	川路 彩乃	2	坂元 佑衣	2	小園なつみ	2

(3)男子個人戦

番号	都道府県名	男子個人	名前	学年
1	北海道	北海高等学校	阿部拓海	3
2	北海道	北海道網走南ヶ丘高等学校	武村 怜	3
3	青森県	青森県立青森高等学校	相坂啓太	1
4	青森県	青森県立八戸高等学校	出町元大	1
5	岩手県	岩手県立釜石高等学校	小山真央	2
6	岩手県	岩手高等学校	久慈透也	2
7	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	阿部 駿 弥	3
8	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	渡邊 剛 史	2
9	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	新斗米 創	1
10	秋田県	秋田工業高等専門学校	齋藤裕史	3
11	山形県	山形県立鶴岡南高等学校	本間 瑞 生	3
12	山形県	山形県立山形東高等学校	森田 一 輝	3
13	福島県	いわき秀英高等学校	在原 驅	2
14	福島県	福島県立磐城高等学校	五十嵐 丈 大	2
15	茨城県	茨城県立太田第一高等学校	上村友大	1
16	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	三村 廉	1
17	茨城県	翔洋学園高等学校	山崎 英 幸	2
18	茨城県	茨城県立牛久栄進高等学校	中谷 祥 也	3
19	栃木県	栃木県立宇都宮北高等学校	中里 亮 周	2
20	栃木県	國學院大學栃木高等学校	中山 智 喜	2
21	群馬県	群馬県立富岡高等学校	山口 翔 悟	1
22	群馬県	群馬県立沼田高等学校	木内 滉 希	3
23	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	金井 孝 之	3
24	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	安井 俊 勝	1
25	千葉県	千葉県立八千代東高等学校	佐藤 僚 介	1
26	千葉県	東京学館浦安高等学校	武田 竜 治	3
27	東京都	武蔵高等学校	大野 弘 喜	2
28	東京都	麻布高等学校	日高 啓 道	2
29	神奈川県	横浜創英 中学・高等学校	錢本 幹 生	3
30	神奈川県	法政大学第二中・高等学校	池田 大一勢	3
31	山梨県	山梨県立都留高校	河村 優一郎	3
32	山梨県	山梨県立甲府西高校	岩下 裕 弥	1
33	新潟県	新潟県立新潟商業高等学校	佐伯 駿 介	2
34	新潟県	敬和学園高等学校	斎京 悟 郎	2
35	富山県	国立富山高等専門学校(本郷キャンパス)	湊 開 誠	3
36	富山県	国立富山高等専門学校(本郷キャンパス)	能村 省 吾	3
37	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	田中 勇 貴	2
38	石川県	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	清水 隆 史	2
39	福井県	北陸高等学校	西澤 佑 亮	3
40	福井県	福井県立大野高等学校	柳原 政 人	3
41	長野県	長野県松本深志高等学校	寺澤 凌	1
42	長野県	長野県豊科高等学校	布山 慎 吾	3
43	岐阜県	岐阜聖徳学園高等学校	井筒 章 浩	3
44	岐阜県	岐阜県立加茂高等学校	中島 灯 希	1
45	静岡県	静岡学園高等学校	土切 勝 滋	1
46	静岡県	藤枝明誠高等学校	西川 洸 佑	2
47	愛知県	愛知県立明和高等学校	竹川 和	2
48	愛知県	南山高等学校男子部	三輪 宏 樹	1
49	三重県	三重高等学校	谷口 慶 至	2

番号	都道府県名	男子個人	名前	学年
50	三重県	三重県立上野高等学校	藤原聖士	3
51	滋賀県	立命館守山高等学校	湯浅夏斗	2
52	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	山尾ジキソン	3
53	京都府	京都教育大学附属高等学校	本川卓佐	1
54	京都府	京都教育大学附属高等学校	小林巧実	3
55	大阪府	大阪学芸高等学校	清水航	2
56	大阪府	長尾谷高等学校	千種玲央	3
57	兵庫県	甲南高等学校	長森優作	3
58	兵庫県	兵庫県立加古川東高等学校	鍋谷太郎	1
59	兵庫県	甲南高等学校	金川和樹	2
60	奈良県	智辯学園高等学校	岩崎凌大	2
61	奈良県	東大寺学園高等学校	山脇淳之介	2
62	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	田和醇也	2
63	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	坂本拓己	1
64	鳥取県	米子松蔭高等学校	橋寄卓万	1
65	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	後藤辰徳	2
66	島根県	島根県立松江南高等学校	中原怜	3
67	島根県	松江工業高等専門学校	古藤雅史	3
68	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	小林達哉	2
69	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	村上郁斗	3
70	広島県	広島県立福山誠之館高等学校	藤井規之	3
71	広島県	広島大学附属高等学校	石井紀彦	3
72	山口県	学校法人鴻城義塾 宇部鴻城高等学校	中堀卓哉	2
73	山口県	山口県立下関西高等学校	久保中亮翔	2
74	徳島県	徳島県立城南高等学校	中村元紀	3
75	徳島県	徳島県立小松島高等学校	木村卓哉	3
76	香川県	香川県立高松西高等学校	神高幸弘	2
77	香川県	香川県立農業経営高等学校	弘内奏楽	1
78	愛媛県	愛媛県立松山中央高等学校	佐々木康介	3
79	愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校	辻健太郎	5
80	高知県	高知県立中村高等学校	岩瀬晃人	2
81	高知県	高知県立高知工業高等学校	中久保太紳	2
82	福岡県	福岡県立福岡中央高等学校	富永祐之介	2
83	福岡県	福岡県立東筑高等学校	有吉和範	3
84	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	武富有平	3
85	佐賀県	東明館高等学校	伊田奎佑	3
86	長崎県	長崎県立佐世保工業高等学校	山口賢人	1
87	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	有田光佑	2
88	熊本県	熊本県立熊本高等学校	白井竜太	1
89	熊本県	真和高等学校	奥田将広	3
90	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	古城直人	3
91	大分県	大分工業高等専門学校	岩尾啓太	3
92	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	時任太那	1
93	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	市平春樹	3
94	鹿児島県	ラ・サール高等学校	岡田史彦	2
95	鹿児島県	鹿児島市立鹿児島商業高等学校	吉迫敦哉	3
96	沖縄県	沖縄県立浦添工業高等学校	喜久川聖弥	3
97	沖縄県	沖縄県立普天間高等学校	城間永世	2

(4)女子個人戦

番号	都道府県名	女子個人	名前	学年
1	北海道	市立札幌大通高等学校	國岡真由希	1
2	北海道	市立札幌大通高等学校	佐藤希	2
3	青森県	青森県立青森南高等学校	吉田葵	3
4	青森県	青森県立青森高等学校	吉岡珠実	1
5	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	沼崎悠華	2
6	岩手県	岩手県立盛岡工業高等学校	坂牛円	3
7	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	熊谷奏	3
8	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	邑松友梨	2
9	秋田県	秋田県立大曲工業高等学校	伊藤鈴穂	3
10	秋田県	秋田県立秋田高等学校	小棚木花保	1
11	山形県	山形県立楯岡高等学校	相田紗那	1
12	山形県	山形県立山形東高等学校	松田梢	2
13	茨城県	茨城県立土浦第一高等学校	岩堀佳菜	2
14	茨城県	水戸葵陵高等学校	足立美桜	3
15	茨城県	水戸葵陵高等学校	崔惠仁	3
16	茨城県	茨城県立大洗高等学校	佐々木春香	1
17	群馬県	群馬県立渋川女子高等学校	新藤春実	1
18	群馬県	群馬県立伊勢崎高等学校	白銀里帆	3
19	埼玉県	埼玉県立和光高等学校	永井さくら	1
20	埼玉県	埼玉県立上尾鷹の台高等学校	梅田幸夏	3
21	千葉県	千葉県立千葉高等学校	加藤寿美香	2
22	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	土居佳南子	3
23	東京都	実践学園高等学校	頼本奈菜	3
24	東京都	日本女子体育大学附属 二階堂高等学校	塚田恵梨花	1
25	東京都	実践学園高等学校	小田切葉月	3
26	神奈川県	横浜創学館高等学校	小澤あざ美	3
27	神奈川県	横浜創英 中学・高等学校	秋山美華	2
28	新潟県	新潟県立巻高等学校	眞田美月	2
29	新潟県	新潟県立高田南城高等学校	池田詩織	2
30	富山県	富山県立高岡西高等学校	浦上莉穂	1
31	富山県	富山県立富山中部高等学校	清原千雅子	3
32	石川県	星稜高等学校	松岡静莉香	3
33	石川県	日本航空高等学校石川	表幸花	3
34	福井県	福井県立金津高等学校	浅田成美	3
35	福井県	福井県立金津高等学校	前川晴奈	3
36	長野県	長野県伊那北高等学校	堀口妙子	2
37	長野県	長野県伊那北高等学校	前田はるひ	1
38	岐阜県	岐阜県立斐太高等学校	宮ノ腰杏	3
39	岐阜県	岐阜県立大垣東高等学校	佐久間琴子	2
40	静岡県	日本大学三島高等学校	小林真優	3
41	静岡県	富士見高等学校	勝亦梨帆	3
42	愛知県	愛知県立丹羽高等学校	中澤沙耶	3
43	愛知県	愛知県立一宮南高等学校	脇田菜々子	3

番号	都道府県名	女子個人	名前	学年
44	三重県	三重県立松阪高等学校	石川 珠妃	1
45	三重県	高田高等学校	鬼頭 あゆみ	3
46	滋賀県	滋賀県立虎姫高等学校	村上 祥代	3
47	京都府	立命館宇治高等学校	藤井 奈々	2
48	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	小池 里奈	3
49	大阪府	大阪学芸高等学校	石本 さくら	1
50	大阪府	大阪府立河南高等学校	新道 理紗子	2
51	兵庫県	尼崎市立尼崎双星高等学校	松尾 千優	2
52	兵庫県	兵庫県立星陵高等学校	勝浦 麻理香	3
53	奈良県	奈良女子大学附属中等教育学校	西尾 美都	2
54	奈良県	奈良学園高等学校	安井 麻純	2
55	和歌山県	和歌山県立耐久高等学校	柳本 乃咲	2
56	和歌山県	和歌山県立海南高等学校	田中 茉衣子	2
57	鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校	谷野 茜	2
58	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	松本 幸佳	3
59	鳥根県	つくば開成高等学校 出雲学習センター	里見 咲紀	3
60	鳥根県	鳥根県立益田高等学校	村上 円	3
61	岡山県	岡山県立岡山芳泉高等学校	難波 遥香	1
62	岡山県	岡山龍谷高等学校	中川 実紅	1
63	広島県	広島県立三次高等学校	永田 美祐	2
64	広島県	広島なぎさ高等学校	山田 桃	3
65	山口県	山口県立下松高等学校	佐世 奈緒子	3
66	山口県	山口県立下松高等学校	高村 麻衣	2
67	徳島県	徳島県立小松島高等学校	高倉 南実	2
68	徳島県	徳島県立川島高等学校	月岡 美紀	1
69	愛媛県	済美平成中等教育学校	牟田口 環美	4
70	愛媛県	済美高等学校	中野 実歌子	1
71	高知県	高知県立高知丸の内高等学校	松岡 碧	2
72	高知県	高知県立高知追手前高等学校	山崎 愛美	3
73	福岡県	福岡県立東筑高等学校	高橋 佳子	2
74	福岡県	福岡県立東筑高等学校	金子 めぐみ	3
75	熊本県	尚綱高等学校	後藤 亜也子	3
76	熊本県	尚綱高等学校	上古 閑有加	3
77	大分県	大分県立大分南高等学校	玉田 理咲	3
78	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	安西 里奈	3
79	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	小窪 佑那	2
80	宮崎県	宮崎県立日南振徳高等学校	森 千沙都	2
81	鹿児島県	鹿児島情報高等学校	三井 唯奈	1
82	鹿児島県	鹿児島情報高等学校	河野 かなえ	1
83	沖縄県	沖縄県立糸満高等学校	小野 理恵	3
84	沖縄県	沖縄県立首里高等学校	城間 未来	3

栄光の記録

1. 個人戦優勝者

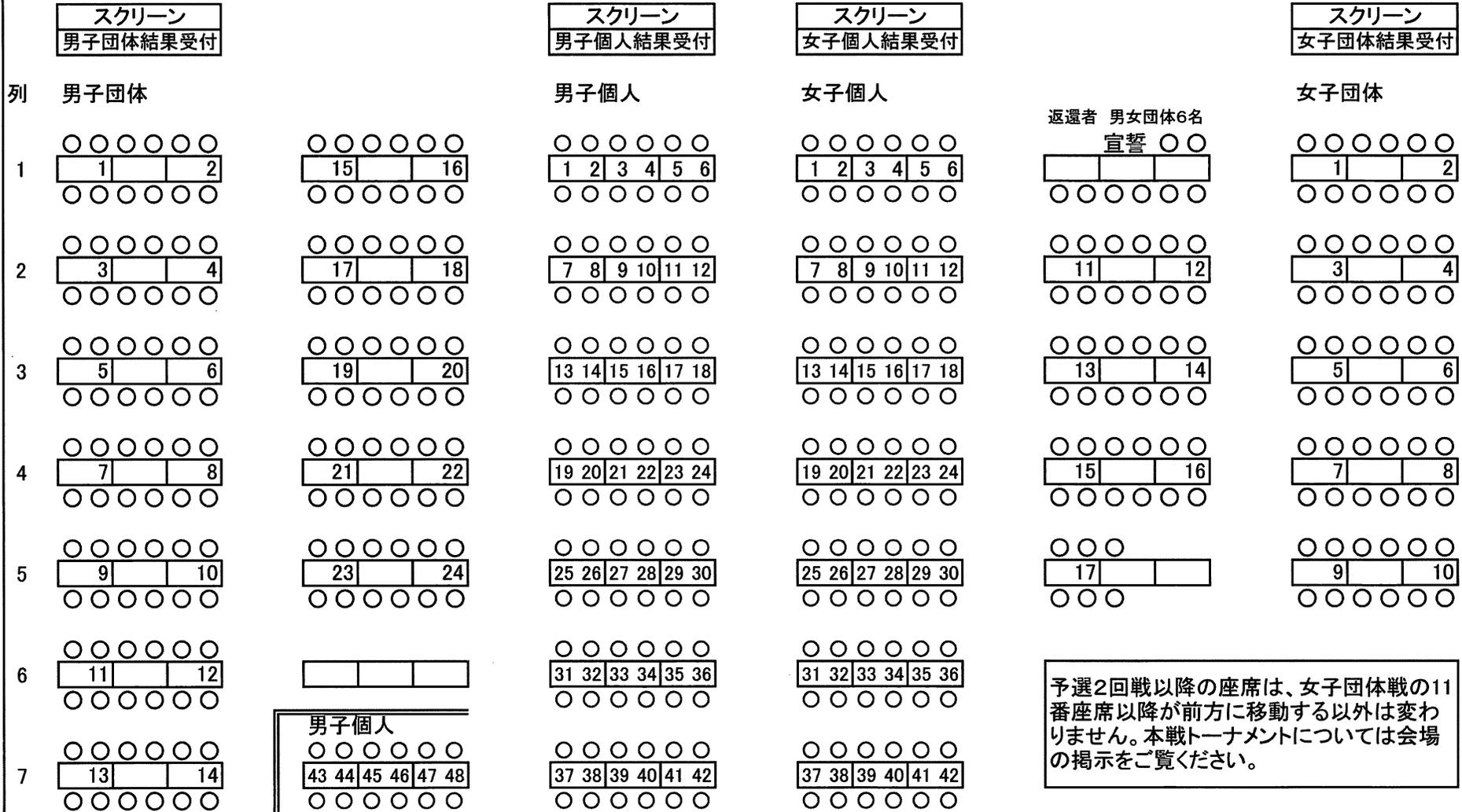
回数	年度	男 子		女 子	
1	昭和40	沼 春 雄	(千歳高校)	菊 元 チヅル	(日出学園高校)
2	昭和41	倉 吉 金	(東亜商高校)	前 田 真理子	(日出学園高校)
3	昭和42	井 上 雅 裕	(市川工高校)	菊 元 みどり	(日出学園高校)
4	昭和43	野 口 鎮 生	(八幡中央高校)	尾 関 洋 子	(小樽昭和高校)
5	昭和44	横 山 公 望	(自由ヶ丘高校)	倉 西 和佳子	(小樽昭和高校)
6	昭和45	岡 村 正 文	(沼津東高校)	船 橋 和 枝	(小樽昭和高校)
7	昭和46	加 藤 慎 二	(横浜東高校)	赤 崎 益 美	(横浜戸塚高校)
8	昭和47	藤 田 博 将	(松山工高校)	松 枝 淑 恵	(横浜平沼高校)
9	昭和48	五十嵐 広 彰	(新潟南高校)	兼 田 陸 美	(夕張南高校)
10	昭和49	甘 竹 潤 二	(大船渡高校)	兼 田 陸 美	(夕張南高校)
11	昭和50	成 田 英 二	(札幌星園高校)	兼 田 陸 美	(夕張南高校)
12	昭和51	新井田 基 信	(札幌光星高校)	越 前 陸 美	(竹早高校)
13	昭和52	広 田 輝 幸	(倉敷南高校)	中 瀬 奈津子	(筑波大付坂戸高校)
14	昭和53	新井田 基 信	(札幌光星高校)	越 前 陸 美	(竹早高校)
15	昭和54	古 作 登	(筑波大付高校)	高 橋 さゆり	(光ヶ丘高校)
16	昭和55	金 山 健 二	(御影高校)	成 瀬 しのぶ	(緑ヶ丘高校)
17	昭和56	広 瀬 尚 良	(岐阜商業高校)	中 瀬 尚 美	(筑波大付坂戸高校)
18	昭和57	若 林 猛	(目黒高校)	金 子 美 和	(横須賀高校)
19	昭和58	風 晴 清 吾	(青森工業高校)	為 谷 夕起子	(高崎市女高校)
20	昭和59	深 海 智 純	(広島皆実高校)	斎 田 晴 子	(湘南高校)
21	昭和60	武 山 俊 夫	(専修大松戸高校)	植 村 真 理	(明善高校)
22	昭和61	渡 辺 健 弥	(戸塚高校)	植 村 真 理	(明善高校)
23	昭和62	菊 田 裕 司	(札幌南高校)	杉 谷 牧 子	(藤枝明誠高校)
24	昭和63	丸 山 玄 則	(上田高校)	竹 下 めぐみ	(土浦日大高校)
25	平成 1	山 田 康 平	(京教大附属高校)	久 津 知 子	(札幌星園高校)
26	平成 2	緒 方 等	(八王子工業高校)	竹 内 幸 代	(和洋女子大附属九段高校)
27	平成 3	尾 沢 透	(柏陽高校)	竹 松 映 子	(伊那北高校)
28	平成 4	三 和 秀 樹	(洛南高校)	小 牧 久 美	(伊那北高校)
29	平成 5	鰐 淵 啓 史	(小樽桜陽高校)	北 原 優 子	(伊那北高校)
30	平成 6	林 隆 弘	(常葉学園高校)	坂 井 仁 美	(岐阜北高校)
31	平成 7	細 川 大市郎	(城ノ内高校)	坂 井 仁 美	(岐阜北高校)
32	平成 8	天 野 啓 吾	(明星高校)	吉 田 優 美	(北陵高校)
33	平成 9	天 野 啓 吾	(明星高校)	吉 田 優 美	(北陵高校)
34	平成10	加 藤 幸 男	(多治見北高校)	吉 田 優 美	(北陵高校)
35	平成11	小木曾 正 訓	(小金高校)	講 神 元 美	(愛知工業高校)
36	平成12	水 野 札 崇	(東海高校)	講 神 元 美	(愛知工業高校)
37	平成13	欄 保 拓 也	(泊通信高校)	中 垣 望	(仁愛女子高校)
38	平成14	今 城 洋 亮	(高槻高校)	中 垣 望	(仁愛女子高校)
39	平成15	森 本 泰 介	(慶応義塾湘南藤沢高校)	笠 井 友 貴	(青雲高校)
40	平成16	和井田 佑 司	(杉戸高校)	笠 井 友 貴	(青雲高校)
41	平成17	相 良 剛 史	(千葉日大第一高校)	篠 崎 梢	(両国高校)
42	平成18	増 本 敬	(佐世保工業高校)	室 谷 早 紀	(生野高校)
43	平成19	山 田 雄 介	(山田高校)	室 谷 早 紀	(生野高校)
44	平成20	山 田 祥 五	(白陵高校)	鈴 木 絵里奈	(明豊高校)
45	平成21	青 木 翔	(大宮高校)	室 谷 由 紀	(同志社香里高校)
46	平成22	中 川 慧 梧	(岩手高校)	小山田 友 希	(盛岡第一高校)
47	平成23	原 司	(早稲田高校)	北 村 桂 香	(立命館宇治高校)
48	平成24	長 森 優 作	(甲南高校)	成 田 弥 穂	(仙台第二高校)
49	平成25	長 森 優 作	(甲南高校)	和 田 あ き	(國學院高校)

2. 団体戦優勝校

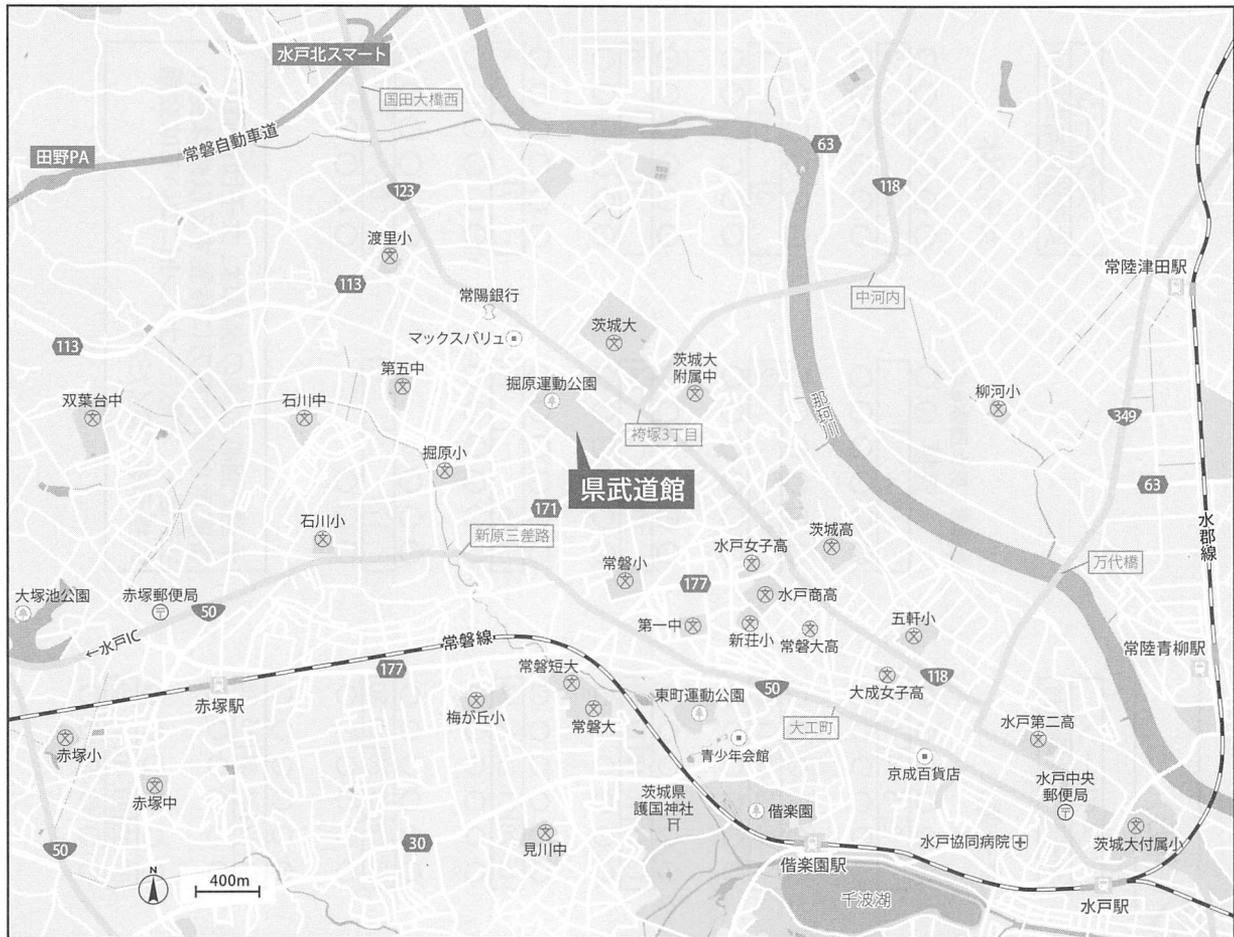
回数	年度	男 子		女 子	
1	昭和40	世田谷工高校	(東京)	日出女子学園高校	(東京)
2	昭和41	千歳高校	(東京)	日出女子学園高校	(東京)
3	昭和42	羽田工業高校	(東京)	日出女子学園高校	(東京)
4	昭和43	八幡中央高校	(福岡)	小樽昭和高校	(北海道)
5	昭和44	桐朋高校	(東京)	小樽昭和高校	(北海道)
6	昭和45	桐朋高校	(東京)	小樽昭和高校	(北海道)
7	昭和46	横浜翠嵐高校	(神奈川)	横浜戸塚高校	(神奈川)
8	昭和47	修道高校	(広島)	横浜戸塚高校	(神奈川)
9	昭和48	安積高校	(福島)	横浜戸塚高校	(神奈川)
10	昭和49	東海高校	(愛知)	横浜戸塚高校	(神奈川)
11	昭和50	福山誠之館高校	(広島)	横浜戸塚高校	(神奈川)
12	昭和51	慶応義塾高校	(神奈川)	横浜戸塚高校	(神奈川)
13	昭和52	銚子市立高校	(千葉)	結城第二高校	(茨城)
14	昭和53	秋田工業専門高校	(秋田)	筑波大付属坂戸高校	(埼玉)
15	昭和54	旭川東高校	(北海道)	高崎市立女子高校	(群馬)
16	昭和55	千葉高校	(千葉)	高崎市立女子高校	(群馬)
17	昭和56	麻布高校	(東京)	高崎市立女子高校	(群馬)
18	昭和57	麻布高校	(東京)	横須賀高校	(神奈川)
19	昭和58	盛岡第三高校	(岩手)	高崎市立女子高校	(群馬)
20	昭和59	麻布高校	(東京)	高崎市立女子高校	(群馬)
21	昭和60	岐阜高校	(岐阜)	甲府西高校	(山梨)
22	昭和61	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
23	昭和62	横浜戸塚高校	(神奈川)	藤枝明誠高校	(静岡)
24	昭和63	麻布高校	(東京)	高崎市立女子高校	(群馬)
25	平成 1	東海高校	(愛知)	藤枝明誠高校	(静岡)
26	平成 2	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
27	平成 3	青森高校	(青森)	伊那北高校	(長野)
28	平成 4	熊本高校	(熊本)	伊那北高校	(長野)
29	平成 5	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
30	平成 6	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
31	平成 7	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
32	平成 8	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
33	平成 9	東海高校	(愛知)	伊那北高校	(長野)
34	平成10	麻布高校	(東京)	藤枝明誠高校	(静岡)
35	平成11	安古市高校	(広島)	藤枝明誠高校	(静岡)
36	平成12	大阪星光学院高校	(大阪)	伊那北高校	(長野)
37	平成13	藤枝明誠高校	(静岡)	幕張総合高校	(千葉)
38	平成14	嵯峨野航行	(京都)	日大三島高校	(静岡)
39	平成15	灘高校	(兵庫)	藤枝明誠高校	(静岡)
40	平成16	灘高校	(兵庫)	倉敷青陵高校	(岡山)
41	平成17	上宮高校	(大阪)	幕張総合高校	(千葉)
42	平成18	鳥取西高校	(鳥取)	南山高校女子部	(愛知)
43	平成19	城北高校	(東京)	幕張総合高校	(千葉)
44	平成20	岩手高校	(岩手)	南山高校女子部	(愛知)
45	平成21	青森高校	(青森)	幕張総合高校	(千葉)
46	平成22	灘高校	(兵庫)	岩村田高校	(長野)
47	平成23	岩手高校	(岩手)	岡山朝日高校	(岡山)
48	平成24	岩手高校A	(岩手)	愛知工業大学名電高校	(愛知)
49	平成25	岩手高校A	(岩手)	愛知工業大学名電高校	(愛知)

7月27日・対局会場(開会式)

ステージ(前方)



会場周辺図



そら
「未来へと続く道」

作詞 村山 絢香

作曲 小瀬 航

♩=138

1.とりかごを もってあ くー わたしはー
2.はな たばを もって はしるー きみーをー

きつと きみを さがして いるんだー
ずつと わたしは おいかけ てるんだー

わが ゆく えとー ここに ある いまー
えがいた ゆめとー みーちなる そらー

まだ みぬこ たえ もとめ つづけてー
あら たな メロディ かなで つづけてー

ふきぬけー るかー ぜにー おもいのせー
やみてらー すつー きにー ねが いかけー

あおぞらに うたうー ひばりのー ようにー
くれな いに さくー ばーらのー ようにー

いま つばさ ひら きー ぶんかの か
いま つぼみ ひら きー そうぞう のは

1.
ぜをー まいおこそうー
なをー

2.
さかせようー そらへと つづくみち

のさきへー きぼうの いただきを めざそうー

とどけよー きみに

未来へと続く道

鳥籠を持って歩く私は

きつと「君」を捜しているんだ

我がゆくえとどこにある今
まだ見ぬ答え 求め続けて

吹き抜ける風に 想いのせ

青空に歌う鳥のように
今 翼開き 文化の風を舞いおこそう

花束を持って走る「君」を
ずつと私は追いかけてるんだ

描いた夢と未知なる未来

新たなメロディ奏で続けて

闇照らす月に 願いかけ

紅に咲く 花のように
今 蕾開き 創造の花を咲かせよう

未来へと続く道の先へ
希望の頂を目指そう...届けよ 君に。

私達は高校生の芸術文化活動を応援しています。

公益社団法人 全国高等学校文化連盟への支援企業等

特別協賛会員	Benesse® 進研ゼミ 高校講座 進研模試 株式会社ベネッセコーポレーション	
協賛会員	 滋慶学園グループ / KANKO 豊公学生服株式会社 朝日新聞社 / 読売新聞社 / 日本工学院 東京工科大学 株式会社 ジェイティービー / 近畿日本ツーリスト 株式会社 日本旅行 / 株式会社 エピキュラス	
助 成	(公財)三井住友海上文化財団 / (公財)一ツ橋文芸教育振興会	
賛助会員	岩手県 みちのくコカ・コーラボトリング(株) 川嶋印刷(株)	岐阜県 (公財)三甲美術館 名古屋芸術大学
	山形県 山形新聞・山形放送 学校法人 東北芸術工科大学	静岡県 学校法人 常葉学園
	山梨県 (有)平和プリント社 近畿日本ツーリスト(株)甲府支店 (株)山梨・新興徽章 (株)少國民社 (有)中川看板店	徳島県 四国大学 徳島県教育印刷(株) 徳島文理大学
	新潟県 長岡造形大学	香川県 学校法人 穴吹学園 (有)東讃印刷所
		福岡県 香和印刷(株) (株)上海堂

高校生の
芸術文化活動への
応援・ご支援を
お願いいたします。

- 引き続き、企業・会社からの協賛会員・賛助会員の申込みを受け付けております。協賛会員については全国事務局に、賛助会員については各都道府県事務局にお尋ねください。
- 一般の個人賛助会員は、賛助会費(一口1年二千元、何口でも構いません)の払い込みをもって入会としております。多くの方々にご入会いただきますようお願い申し上げます。
 - 払込み方法：郵便局の払込取扱票(青色の用紙)で払込みください。その際、手数料を賛助会費から引いた形で納入されて結構です。
 - 口座番号：02280-9-59455
 - 加入者名：公益社団法人全国高等学校文化連盟
 - ※個人賛助会員の皆様には本連盟の会報(年1回発行)をお送りいたします。



公益社団法人 全国高等学校文化連盟

〒020-0835 岩手県盛岡市津志田26-17-1 岩手県立盛岡第四高等学校内
 TEL.019-656-5010/FAX.019-656-5015 URL <http://www.kobunren.or.jp>

平成24年4月1日、社団法人全国高等学校文化連盟は公益社団法人に移行しました。

大学でも専門学校でも 片柳学園なら多彩な進路が選べる!

学校法人片柳学園



KAMATA



HACHIOJI

実学主義ではぐくむ就職力 東京工科大学

蒲田キャンパス



- デザイン学部
- 医療保健学部
看護学科 / 理学療法学科 / 作業療法学科
臨床工学科 / 臨床検査学科

八王子キャンパス



- 工学部 (2015年4月設置届出書類提出中) 機械工学科 / 電気電子工学科 / 応用化学科
- コンピュータサイエンス学部 ● メディア学部 ● 応用生物学部

東京工科大学

〈蒲田キャンパス〉〒144-8535 東京都大田区西蒲田 5-23-22 ☎ 0120-444-925
 〈八王子キャンパス〉〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎ 0120-444-903
 ●スマホ・PC <http://www.teu.ac.jp/> ●mobile <http://kam.teu.ac.jp/>

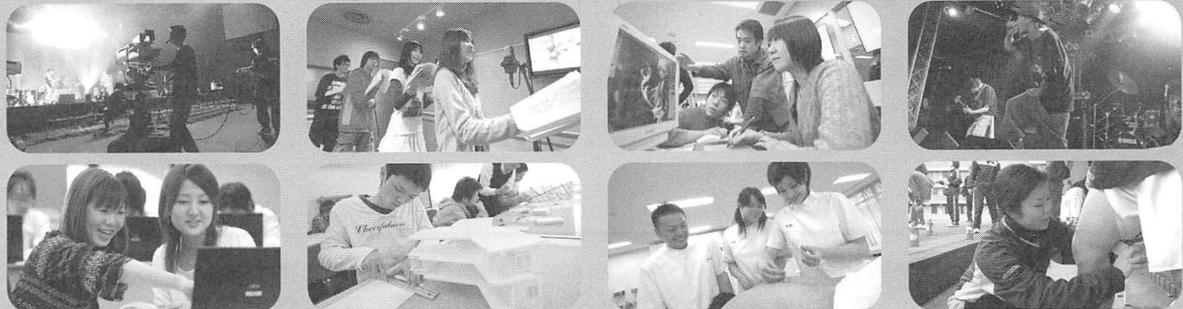


東京工科大学で学ぶ
〈学士〉取得

日本工学院から東京工科大学へ編入
〈専門士〉+〈学士〉取得

日本工学院で学ぶ
〈専門士〉〈高度専門士〉取得

専門力+人間力で就職力アップ 日本工学院



クリエイターズカレッジ

- 放送・映画科
- 声優・演劇科
- 演劇スタッフ科 ◆☆
- マンガ・アニメーション科四年制 ◆※
- マンガ・アニメーション科
- ゲームクリエイター科四年制 ◆※
- ゲームクリエイター科
- CG映像科 (3年制)

デザインカレッジ

- グラフィックデザイン科 (3年制)
- Webクリエイター科 (3年制) ☆
- インテリアデザイン科 (3年制)
- プロダクトデザイン科 (3年制)

ミュージックカレッジ

- ミュージックアーティスト科
プレイヤー/ヴォーカリスト/
ミュージッククリエイターコース
- コンサート・イベント科
- レコーディングクリエイター科
- ダンスパフォーマンス科 ●

ITカレッジ

- ITスペシャリスト科 (4年制) ◆※
- 情報処理科
- パソコン・ネットワーク科
- 情報ビジネス科
- 診療情報管理士科 (3年制)
- 医療秘書・事務科

テクノロジーカレッジ

- ロボット科 ○
- 電子・電気科
- 一級自動車整備科 (4年制) ○◆※
- 自動車整備科 ○
- 環境・バイオ科 ●
- 応用生物学科 ○
- 建築設計科 ◆※
- 土木・造園科 ○
- 機械設計科

医療カレッジ

- 鍼灸科 (3年制) ○
- 柔道整復科 (3年制) ○
- 臨床工学専攻科一年制 ●

スポーツカレッジ

- スポーツトレーナー科三年制 ○
- スポーツトレーナー科 ○
- スポーツ健康学科三年制 ○
- スポーツコーチング+スポーツインストラクター/
スポーツビジネスコース
- スポーツ健康学科 ○
- スポーツコーチング/スポーツインストラクター/
スポーツビジネス/サッカー(男・女)/テニスコース

☆2015年4月新設 ◆編入制度あり ※高度専門士付与学科
 ●日本工学院専門学校のみ設置 ○日本工学院八王子専門学校のみ設置

日本工学院

日本工学院専門学校 〒144-8655 東京都大田区西蒲田 5-23-22 ☎ 0120-123-351
 日本工学院八王子専門学校 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 ☎ 0120-444-700
 ●PC <http://www.neec.ac.jp/> 日本工学院 検索

姉妹校：日本工学院北海道専門学校





カンコー学生服は、第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会に参加される生徒の皆様を応援しています。



KANKO MANABI PROJECT®

学びをひろげる、ふかめる、たのしむ。

文化活動の充実・発展をサポートしています。



カンコーは、
2013長崎しおかぜ総文祭より
書道の特別賞として
「菅公賞」を制定、
表彰しています。

菅公賞



カンコーでは、書道の達人といわれている「菅原道真公」にちなみ、全国高等学校総合文化祭・書道部門に「菅公賞」を制定し、優秀な5作品について表彰しています。

(公社)全国高等学校
文化連盟の支援
高校生の芸術文化活動を
応援しています。



平成24年より、全国高等学校文化連盟に特別協賛をスタート。文化活動においても様々な大会や活動をバックアップしています。

カンコーは、学校制服・体操服のメーカーとして、唯一、協賛会員の認可を受けています。

全国高等学校総合文化祭への取り組み

2013 長崎しおかぜ総文祭

書道部門で「菅公賞」の贈呈
●各種広告への協賛

いばらき総文 2014

書道部門で「菅公賞」の贈呈
●各種広告への協賛

菅公学生服株式会社



(公社)全国高等学校文化連盟協賛
All Japan Senior High School Cultural Federation



(公財)全国高等学校体育連盟協賛
インターハイ協賛



(公財)日本中学校体育連盟推薦
(公財)日本中学校体育連盟シンボルマーク付



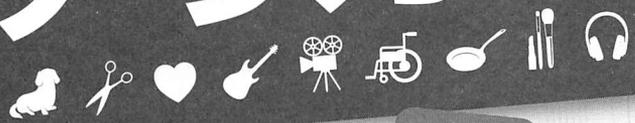
カンコー学生服 検索 <http://kanko-gakuseifuku.co.jp/>

菅公学生服株式会社 お客様相談室 フリーコール 0120-712983 9:00~17:30/土・日・祝日除く。※携帯電話、PHSからもご利用いただけます。
「尾崎商事株式会社」は、「菅公学生服株式会社」へ社名変更いたしました。



なりたい仕事のことを知るサイト

ナリカタ



「進路を決める」ことは
「将来の仕事を選ぶ」こと。
仕事を詳しく知れば、
ぴったりの進路が見えてくる。

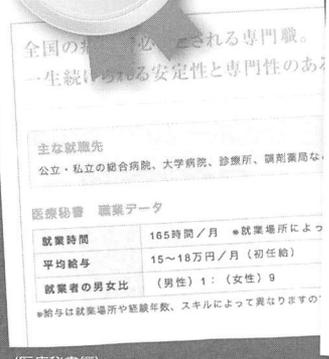


<http://www.narikata.com/>

登録などは必要ありません。気軽にアクセスして将来の仕事を見つけちゃおう! ※仕事によって一部、掲載項目が異なります

1

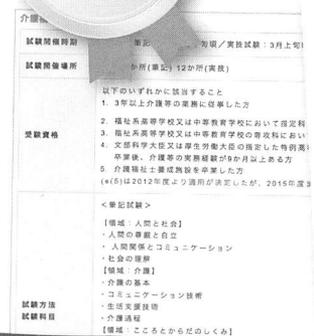
仕事内容や職場
が分かる!



〈医療秘書編〉

2

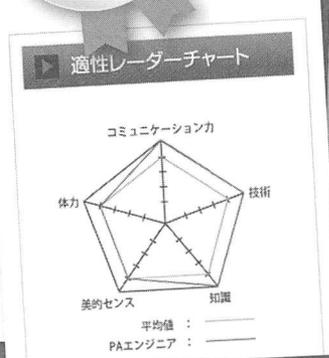
必要な資格
が分かる!



〈介護福祉士編〉

3

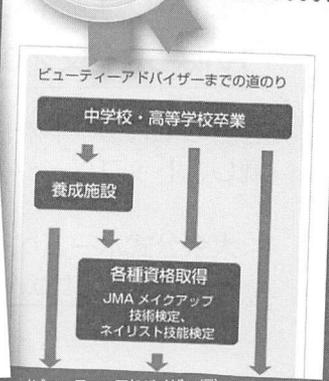
どんな人
向いているか
分かる!



〈PAエンジニア編〉

4

プロへの道のり
が分かる!



〈ビューティーアドバイザー編〉

こんな分野の仕事が
紹介されています!

医療/福祉/保育・スポーツ/自然・環境/動物・植物/農業/ハイテク/IT・通信/デザイン/小説・雑誌/
マンガ/アニメーション/映画・映像・TV/音楽/アクトーズ/製菓・調理/美容・ファッション/観光・ブライダル

職業人教育を通じて社会に貢献する
一人ひとりを大切に、業界に直結した専門学校を目指す

滋慶学園グループ

<http://www.jikeigroup.net/>

緊急時対応マニュアル (参加者のみなさまへ)

I 大会参加にあたっての留意事項

1 健康 (体調) 管理に十分気をつけてください。

- (1) 体調を十分に整えて参加してください。
- (2) 茨城の夏は高温多湿のため、「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- (3) 救護所に内服薬は置いていません。日ごろ内服している常備薬は、必ず携行してください。
- (4) 引率者は、参加生徒の健康状態を把握しておいてください。
※アレルギー、心臓疾患等の体質・症状など
- (5) 医療機関における受診費用は本人負担です。なお、「健康保険証」がない場合は、原則として医療費全額が実費負担となります。
- (6) 感染症 (インフルエンザや麻疹 (はしか) 等) の予防のため、屋外から宿舎に戻った時や飲食の前に手洗い、うがいを行いましょ。また、感染症の疑いがある場合は、直ちに引率者に相談し、適切な対応を取ってください。

2 貴重品・手荷物の管理は自己管理としてください。

3 自然災害に備えましょう。

- (1) 注意報、警報などの気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握しておいてください。
- (2) 災害時の安否確認
震度6以上の地震や豪雨などの災害時に、被災地等へ安否確認のため、下記のサービスが利用できます。詳しくは各電話会社に確認してください。
 - ①災害用伝言板サービス (携帯電話)
携帯電話各社にて、災害用伝言板サービスを提供しています。
 - ②災害用伝言ダイヤル『171』 (一般電話、公衆電話)
NTTにより提供されています。
URL : <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

II 緊急時の連絡体制

1 「いばらき総文2014」ホームページへの情報掲載

右記のQRコードを読み取るか、下記のURL (パソコン・携帯電話) から公式ホームページに接続し、トップページの「最新情報」で情報を入手してください。

大会公式ホームページ

URL : <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/soubun2014/>



(QRコード)

2 本部用緊急連絡先

第38回全国高等学校総合文化祭茨城県実行委員会

TEL : 029-301-5457 FAX : 029-301-5469



すべては、
キミの合格から
逆算されている。

大学受験にも、「進研ゼミ高校講座」

国公立大「現役」合格者の「3.9人に1人」は進研ゼミ出身!

平成25年度 進研ゼミ高校講座 進研ゼミ東大特講√T 進研ゼミ京大特講√K 大学合格実績

東京大・京都大 774名

早慶上智 3,523名 MARCHG 11,201名 関関同立 11,248名

国公立大

東京大	341名
京都大	433名
東京工業大	80名
一橋大	92名
北海道大	413名
東北大	477名
筑波大	441名
お茶の水女子大	126名
東京外国語大	150名
東京農工大	138名
横浜国立大	303名

名古屋大	417名
大阪大	525名
神戸大	462名
九州大	490名
首都大学東京	336名
大阪市立大	265名
大阪府立大	288名

私立大

早稲田大	2,026名
慶應義塾大	777名
上智大	720名

東京理科大	1,488名
明治大	2,794名
青山学院大	1,283名
立教大	1,855名
中央大	1,993名
法政大	2,671名
学習院大	605名
関西大	2,966名
関西学院大	2,052名
同志社大	2,240名
立命館大	3,990名
南山大	2,141名

Benesse®

進研ゼミ高校講座 進研ゼミ東大特講√T 進研ゼミ京大特講√K

※ご紹介している数字は「進研ゼミ高校講座」「進研ゼミ東大特講√T」「進研ゼミ京大特講√K」受講経験者への進路調査(H25年度入試)より。※「現役」のみの合格実績を掲載。既卒生や進研模試のみの受験者は一切含みません。※受講期間3か月以上に相当する受講経験者で集計。※「3.9人に1人」の数字は、全国の国公立大を対象として、弊社が確認した情報をもとに集計。※複数の大学、複数の学部・学科・日程・方式に合格している方については、複数の合格者数として集計。※ご紹介している大学名は、H25年度入試時点での大学名です。H26年度より再編・統合の場合もあります。ご了承ください。※スベースの都合により一部の大学のみご紹介しています。※2013年度の合格実績には、東大特講√T 東大物理講座/東大化学講座/東大生物講座/東大世界史講座/予想問演習 東大文系/予想問演習 東大理系/京大特講√K 京大物理講座/京大化学講座/京大生物講座/予想問演習 京大文系/予想問演習 京大理系の受講者が含まれています。※2014年度のラインナップ及び「進研ゼミ東大特講√T」「進研ゼミ京大特講√K」についての詳しい内容は、<http://tk.benesse.co.jp/>をご覧ください。



★ 主催

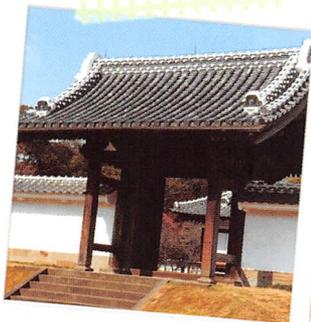
文化庁，公益社団法人全国高等学校文化連盟，茨城県，茨城県教育委員会，水戸市，水戸市教育委員会，日立市，日立市教育委員会，土浦市，土浦市教育委員会，結城市，結城市教育委員会，牛久市，牛久市教育委員会，つくば市，つくば市教育委員会，ひたちなか市，ひたちなか市教育委員会，神栖市，神栖市教育委員会，東海村，東海村教育委員会，茨城県高等学校文化連盟

★ 特別後援

朝日新聞社 読売新聞社

★ 後援

全国都道府県教育長協議会，全国高等学校校長協会，茨城県高等学校校長協会，茨城県私学協会，国立大学法人 筑波大学，NHK，毎日新聞社，日本経済新聞社，産経新聞社，株式会社共同通信社，株式会社時事通信社，茨城新聞社，常陽新聞株式会社，東京新聞水戸支局，株式会社茨城放送，ACCS，J:COM茨城，いばらき中央テレビ，株式会社JWAY，結城ケーブルテレビ・筑西ケーブルテレビ，FMかしま，FMだいで，FMぱるるん，FMひたち，特定非営利活動法人たかはぎFM，ラジオつくば



「弘道館に梅花を賞す」
作：徳川齊昭

いばらきの
魅力発信

国の重要文化財“弘道館”

天保12年、第9代水戸藩主徳川齊昭公により創設。武芸一般はもとより、医学・薬学・天文学など幅広い学問をとりいれ、藩士に文武両道の修練をつませました。現在では国の重要文化財に指定され、敷地には800本の梅があり、偕楽園公園に次ぐ梅の名所となっています。

\\ facebook・LINE・twitterで情報発信中! //

いばらき総文2014

検索

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/soubun2014/>



問合せ先

第38回全国高等学校総合文化祭
茨城県実行委員会事務局
〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978番6
TEL.029-301-5454 FAX.029-301-5469